

【中3・国語・「広い視野で考え、意見をもとう」①】

育成を目指す資質・能力

〔知識及び技能〕

話や文章の種類とその特徴について理解を深めること〔言葉の特徴や使い方に関する事項ウ〕

〔思考力、判断力、表現力等〕

文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること〔C読むことイ〕

文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと〔C読むことウ〕

〔学びに向かう力、人間性等〕

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、思いや考えを伝え合おうとすること

ICT活用のポイント

- ・ 個々の学習の進度や必要感に合わせて、いつでも資料を見ることができるよう環境をつくる
- ・ ICTを活用して多様な他者の意見を知るところを起点にして、話合いの必要感を高める

事例の概要

【つかむ】 教材として扱う作品の作者や時代等を知り、本文を通読して主題と内容を捉える

【追究する】 登場人物や場面の特徴について読み深め、その表現が作品全体に与える効果を考える
印象に残った登場人物や表現について他者と交流し、自分の考えを深める

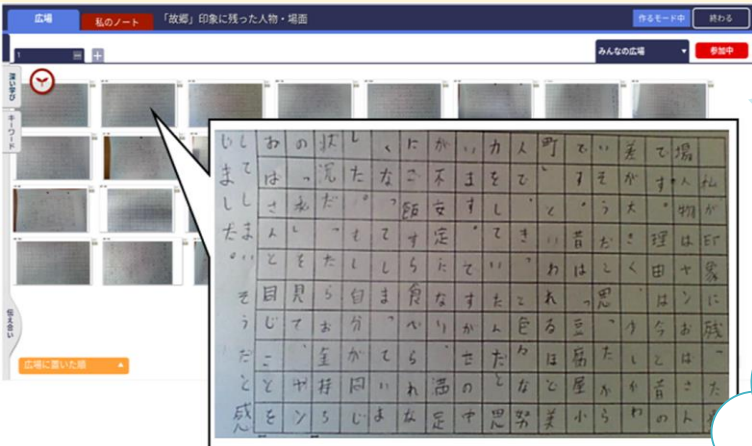
【まとめる】 単元の学びを振り返り、文学的な作品を読む意義について自分の考えをもつ

ICT活用の場面

- ・ 自分の考えを表出する場面
自分の考えを記述したワークシートを写真として保存
- ・ 他者の考えと自分の考えを比較する場面
提出された各自のデータを共有
必要なときに自由に見られるように設定
- ・ 相手を決めて話し合う場面
共有データの必要な部分を資料として示しながら話し合う

【中3・国語・「広い視野で考え、意見をもとう」②】

【事例におけるICT活用場面 1】



手書き文字が写真で記録されている(①)

書いた文章が共有されているページで、必要に応じて全員の文章をいつでも閲覧できる(②)


自分と同じ登場人物に着目しているけれど、印象が違うな。どの文から読み取ったのか聞いてみたい…

生徒が自分の考えを記述したものを保存(①)し、自らの学習を振り返ったり他者の考えと比較したりしやすい(②)環境をつくっている。

<ICT活用の工夫>

- ①文字入力時間は生徒の個人差が大きく、入力作業が苦手な生徒もいるので、書いた文章を写真として記録させる
- ②個々の興味関心や必要感に応じて他者の文章を資料として扱えるように、いつでもデータが見られる環境にする

【事例におけるICT活用場面 2】



話合いの様子 (③、④)

この描写で、努力とは関係なく貧しくなって、心もすさんだことを表していると思ったから。過去と現在の外見描写の差が大きすぎるよね。

かわいそう、と共感したのは、どの部分からそう思ったの？

なるほど、人の変化に時代背景があると捉えたのか。登場人物に感情移入するだけでなく作者の視点で読むと主題に迫れるな…

話す相手を生徒自身が選び、意図をもって話し合う場を設定する(③)ことで、広く他者の意見を聞くために観点をもって読む、といった必要感をつくっている。

また、話合いで他者の意見を詳しく知る(④)ことで教材文を読む新しい視点を獲得し、自力読みが深められるようにしている。

<ICT活用の工夫>

- ③ICTは情報を得るツールとし、その後の話合いを通して資質・能力の育成を図る
- ④資料として教材文や共有データを示しながら互いの意見を伝え合えるようにする